

平成28年度 長野幼稚園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1. 園の教育目標

—よく遊びふれあい学ぶ凜とした逞しい子の育成をめざして—
「にっこりあいさつ わくわくトライ しゃきつとそろえる はだしマン」

2. 本年度の重点目標

- ・遊び、体験を通して知力・徳力・体力の伸長を図る。
- ・気づき考え主体的に学ぶことができる子。 —ひとりのできる。みんなとできる—

3. 自己評価

- A…十分達成されている B…達成されている
C…取り組んでいるが、成果が十分でない D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	B
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	B
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	B
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

4. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

- ・園全体で子どもを見てくれている。どの先生もていねいな指導をしてくれている。
- ・いろいろな場所にでかけてさまざまな体験をしていることはよい。
- ・さらに歩育、食育を進めてほしい。
- ・これからもHPの更新に努めてほしい。
- ・小学校から英語が始まっている。英語に対する要望が増えてくることが予想される。対応できるよう考えていく必要がある。イマージョンクラス定員について毎年課題になっている。何とかならないのか。

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・昨年度評価と比較すると、重点目標への取組み、PTA・モニター会等に実施・教育環境の工夫の3項目が、B→Aになり半歩前に進めた。
- ・評価項目「日々の保育の振り返りと課題を明確にする」がB評価であった。課題として認識している。
- ・職員の保育への取り組み姿勢を評価いただいている。これからも全職員で全園児の保育・教育に努める。
- ・園外保育目的地の系統性を見直してきたが、次年度も継続して検討していく。
- ・園内研修として、1人1公開保育・研究会を実施した。次年度も自己課題を明確にして継続する。
- ・外部講師を招いて、障害（視力）について研修を実施した。次年度の内容と人選を検討する。